

No.129

2014.05.30

(平成 26 年)



発行：(公社) 神奈川労務安全衛生協会厚木支部
編集：広報部会

あつぎ

支部だより

あいかわ あつぎ あやせ えびな きよかわ ざま やまと

もくじ

- 1……支部長挨拶
- 2……監督署長挨拶
- 3……監督署人事異動のお知らせ
職員配置図
- 4……定期総会・功労者表彰
- 5……無災害達成事業所・健康だより
- 6～7……部会紹介・追送
- 8……ディスカバリーあつぎ
支部からのお知らせ

E-mail : atsugi@roaneikyo.or.jp
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/atsugi/index.html>

〒243-0014 厚木市旭町 2-2-26
TEL(046)228-6660



支部長に就任して

厚木支部長 馬場 辰己
日産自動車(株)座間事業所

厚木支部長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

去る平成26年4月25日開催の定期総会におきまして、見目前支部長の後を継いで厚木支部長という大役を務めさせて頂く事になりました。その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

労務安全衛生協会での活動は、2年間、労務管理部会・労働災害統計委員会を務めさせて頂きました。内容は厚木監督署及び担当行政の皆様と連携をとりながら労働法改正及び災害発生要因分析等、地域の皆様に役立つ情報発信に努めさせて頂きました。

まだ経験も浅く、期待にお応えできるのかと不安ではございますが、厚木支部発展のために精一杯努力してまいりますので、ご支援、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、私たちの取り巻く経済情勢ですが、アベノミクスによる景気回復が当面続きそうだという見方が広がり、企業の採用意欲が高まっております。流通や飲食業は今までも人手不足だったが、他の業種も人を取り始めたため、不足感がさらに高まり少子高齢化で、労働人口が現在より減っていくのは避けられないため、高齢者や主婦の就労を促す必要があります。

今後は企業として、人口減少社会を背景に景気の回復基調を受けながら、経営環境の改善が更に要求される中、労働・雇用に関しましては様々な問題が顕在化しており、今後も多様な問題への対応が求められるものと思われます。働くものの安心・安全と健康を守るために、私たちに課せられた役割は従来以上に重要なものになってまいります。

特に労働災害防止は私たちにとって最も基本となるものですが、平成25年度厚木労働基準監督署管内の休業4日以上労働災害は減少したものの、まだ高い件数で推移しています。

また、死亡災害においては前年と比較して1名の減少の4名増加となっており、更なる労働災害の減少を目指して活動を進めなければなりません。

このような状況を踏まえ、現在推進活動されている「第12次労働災害防止推進計画」の必達に向けて労働災害防止を最重点活動と位置付け、労働災害は決して起こしてはならないということを改めて認識し、リスクアセスメントの確実な実践、労働安全衛生マネジメントシステムの導入・実施などを通じて災害ゼロを目標に会員の皆様と共に活動を進めてまいります。また、心とからだの健康及び快適職場作りに向けましても、長時間労働の抑制対策、過重労働による健康障害防止対策、またメンタルヘルス対策及び定期健康診断における有所見率改善対策の推進も行っていきたいと考えております。

これらを実現していくためには、従来からの取り組みを確実に実施し環境の変化に即応しながら柔軟に活動内容を進化・発展させていくことも必要ではないかと思います。まだまだ、厳しい企業努力が続く中、会員の皆様と共に安全で働きがいと生きがいのある職場づくりを目指して、歴代の役員の方々が積み上げてこられた良き歴史を守り、更に厚木支部が発展できるよう精一杯努めさせていただきます。

最後に厚木労働基準監督署の皆様との相変わらぬご指導・ご鞭撻と会員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。支部長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新年度のご挨拶



厚木署着任のご挨拶

厚木労働基準監督署
署長 中村 宏彰

この度、4月1日付の異動により厚木労働基準監督署に着任しました中村です。

今後、皆様方には大変お世話になることと思っておりますが、よろしくお願い申し上げます。

また、日頃より労働基準行政に対し御理解・御協力を頂き感謝申し上げます。

さて、最近の景気の状態は、緩やかな回復傾向が続いていると言われていたものの、各事業場での労務、安全衛生の取組においては、大変苦勞されていることと存じます。

私は、平成12年から3年間厚木署で勤務していましたが、この年はシドニーオリンピックが開催され、マラソンの高橋尚子や柔道の田村亮子が金メダルをとり女性の活躍が目立ち、サザンのTUNAMIの歌が大ヒットした年でした。

それから、14年が過ぎましたが県央地域では、高速道路の整備に伴い大規模物流拠点ができ、製造業においては、物づくりから研究・開発にシフトする等の変化が生じていると窺っていますが、このような変化が労働環境に与える影響を見極めながら行政を進めていくことが重要であると考えているところです。

このような中で、平成26年度の新たなスタートを切ったところですが、特に、以下を重点に取り組みたいと考えております。

第1点目は、「働く人にやさしい職場環境の提供」です。

職場における最低の法定労働条件を確保することは当然のことですが、過重労働による健康障害防止やパワーハラスメント等によるストレスのない職場環境の形成を推進することとしています。

第2点目は、「労働災害防止と健康確保対策の推進」です。

本年度は、第12次労働災害防止推進計画の2年目であり、最終年（平成29年）に死亡及び休業4日以上労働災害を15%減少（平成24年比）させるという目標達成に向けた取り組みを推進することとしています。

そのためには、リスクアセスメント等の定着により、職場のリスクを低減させることが重要だと考えています。

労働衛生に関しては、大阪での胆管がん発症問題をうけ、本年度は化学物質対策の徹底を図ることとしております。

また、精神障害による労災請求件数が増加傾向にあり、本年度から新たにスタートした神奈川産業保健総合支援センターや地域産業保健センター等を活用したメンタルヘルス対策を推進することとしています。

第3点目は「労災補償の迅速・適正な処理」です。脳・心臓疾患や精神障害等の複雑・困難な労災申請件数が増加しているところですが、迅速・適正な業務処理により被災労働者等の早期救済を図ることとしています。

パナソニックの創業者である松下幸之助氏は「どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来はどうなるものでもない。いま、現在に最善を尽くすことである。」と述べていますが、県央地区で働く人が健康で安全にストレスのない職場で働くことが出来るよう最善を尽くす所存でありますので、皆様方の御理解、御支援を賜りますようお願いして着任の挨拶とさせていただきます。

誰もが安心して健康に働くことができる
社会を実現するために

第12次労働災害防止計画 実施中！

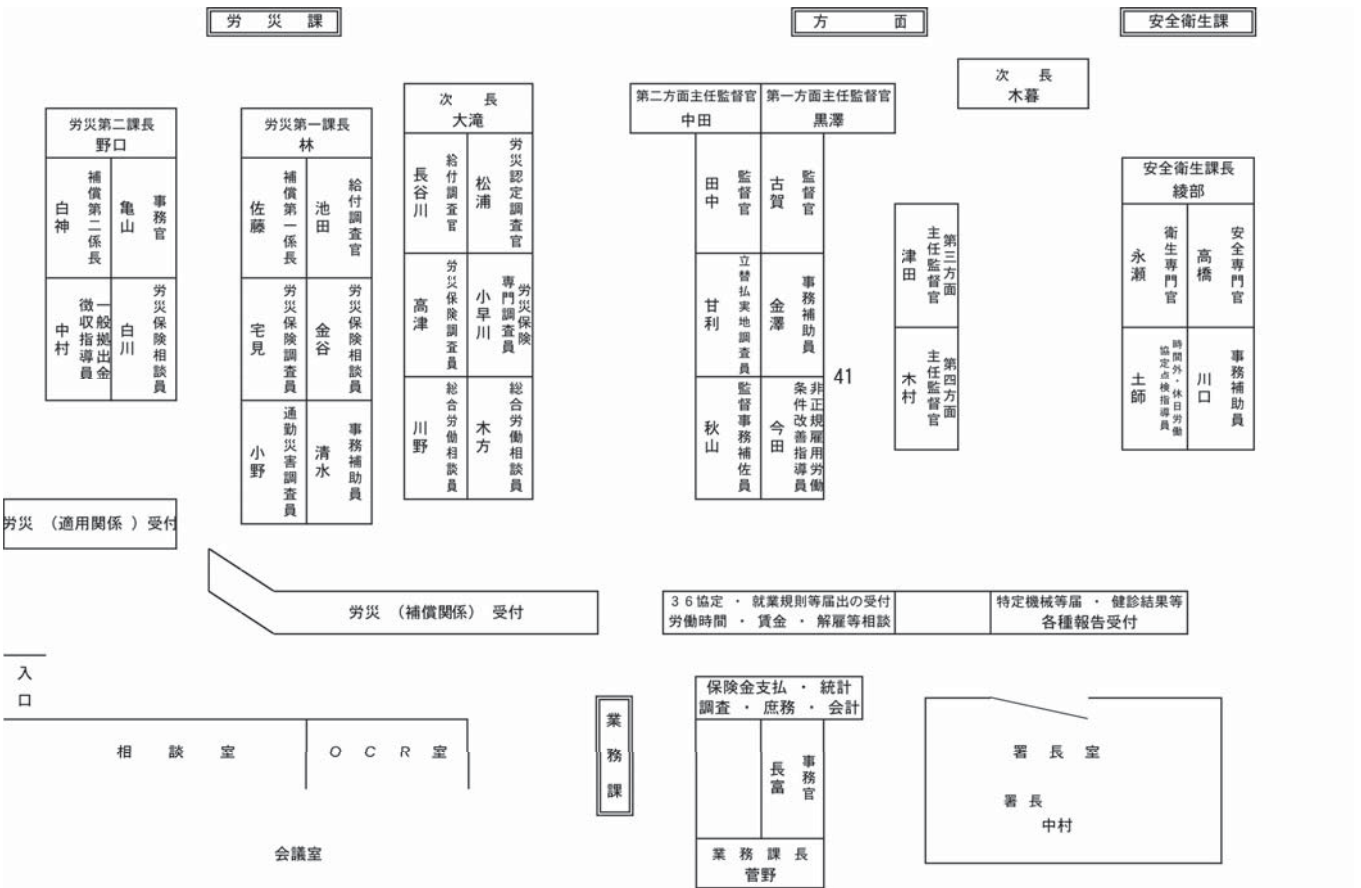
神奈川労働局

厚木労働基準監督署 人事異動のお知らせ

本年 4 月 1 日付けの人事異動は次のとおりです。

新 官 職	氏 名	現 官 職	後 任 者	現 官 職
局安全課 課長	酒井 康之	署長	中村 宏彰	局健康課 課長
横浜北署 次長	松渕由紀夫	次長	木暮 勤	相模原署 次長
小田原署 安全衛生課長	今井 貴久	第三方面主任監督官	津田 幸宏	第四方面主任監督官
第三方面主任監督官	津田 幸宏	第四方面主任監督官	木村 隆志	局監督課 特別監督官
局監督課 労働時間設定改善指導官	星野 恵美	安全衛生課長	綾部 豊	局安全課 安全専門官
相模原署 労災課長	望月 清貴	業務課長	菅野 文夫	川崎南署 労災課長
局補償課 給付調査官	天野 政之	労災第一課長	林 米男	藤沢署 労災課長
横浜西署 労災課長	橋本 恵美	労災第二課長	野口 誠	横浜北署 労災認定調査官
小田原署 給付調査官	加藤 勇介	副主任監督官		
		給付調査官	池田 康宏	長野局
横浜南署 補償第一係長	中尾 誠	補償第一係長	佐藤 雅恵	平塚署 庶務係長
局徴収課 適用主任	齊藤いづみ	補償第二係長	白神 道雄	補償主任
補償第二係長	白神 道雄			
方面監督官	古賀 徹也	労災課 監督官	古賀 徹也	労災課 監督官
		方面監督官	亀山 まい	藤沢署 労災課 事務官
		労災課 事務官	長富 有加	新規採用 事務官
		業務課 事務官		

厚木労働基準監督署 業務案内及び職員配置表



平成26年度厚木支部定期総会開催

4月25日（金）厚木アーバンホテルにて平成26年度（公社）神奈川労務安全衛生協会厚木支部定期総会が開催されました。

初めに進行を務める川本幹事から挨拶があり、続けて御来賓として厚木労働基準監督署中村署長と（公社）神奈川労務安全衛生協会竹内常務理事が紹介されました。

議事に先立ち厚木支部無災害達成事業所表彰と功労者表彰式が執り行われました。

平成25年度に25年、20年、15年、10年、5年と5年ごとに連続して無災害を達成した10事業場が持田幹事より読み上げられ、壇上にて見目支部長より表彰状が授与されました。

続いて長年にわたって厚木支部に尽力された4名の名前が読み上げられ、壇上にて見目支部長より感謝状が授与されました。司会者より定期総会に関して「総会員481事業場のうち69事業場の出席及び250事業場からの委任状が提出され、厚木支部規約第20条に則り本総会は成立しています」との報告がされました。

次に、見目支部長が議長に選任され議事が進行しました。第1号議案「平成25年度事業報告」を池田幹事、第2号議案「平成25年度収支決算報告」を井上幹事、第3号議案「平成25年度会計監査報告」を石川会計監査から報告され、第4号議案「平成26年度事業計画（案）」を佐川幹事、5号議案「平成26年度予算（案）」を渡部幹事より説明されました。第6号議案「役

員改選（案）」は島田幹事より提案されました。引き続き若林幹事より会員状況について「平成25年3月末には496会員事業所でしたが、入会及び退会事業所を合わせて15事業所の減となり、平成26年4月現在では481会員事業所となりました」との報告がされました。各議事は満場一致で承認可決され議長が解任されました。

続いて見目支部長より任期満了に伴う退任の挨拶がされ、馬場新支部長の紹介と挨拶がされました。最後に、厚木労働基準監督署中村署長より「長時間労働に伴うメンタルヘルスの労災申請が非常に増えていますので心の健康づくりも安全衛生計画に入れてください。また平成25年度にスタートした第12次労働災害防止推進計画の達成と化学物質管理の徹底の為、リスクアセスメントを実行して人にやさしい職場づくりをしていただきたい」との来賓のご挨拶をいただきました。続いて、神奈川労務安全衛生協会竹内常務理事より「安心・安全に働ける職場づくりの一躍として皆様と直に話し合いのできる支部を大いに役立てていただきたい。また、各議案を各幹事の皆様が項目ごとに説明しているのは厚木支部が初めてです。それだけ会員の皆様に支えられている支部だと認識しました。今後ともこのような体制を堅持していただきたい」とご挨拶を頂きました。

総会はずべての次第を終えて第二部の情報交換会へと続きました。

（三木プーリ(株)テクニカルセンター 田中 利昭 記）

厚木支部長より表彰状授与

厚木支部長より4名の方に功労者表彰として感謝状が授与されました。

表彰された皆さん



加藤 太一郎さん（(株)IH技術教習所）
大屋 誠一さん（(株)中村屋 神奈川工場）
池田 都子さん（旭硝子(株)相模工場）
井関 勝美さん（自動車部品工業(株)）

平成25年度 無災害達成事業所

当支部が主唱する無災害活動に参加し、平成25年度で5年以上連続（5年ごと）無災害を達成した事業所を紹介いたします。（敬称略）

25年連続無災害達成事業所（1事業所）

東ソー(株)東京研究センター

20年連続無災害達成事業所（1事業所）

大同油脂(株)相模工場

15年連続無災害達成事業所（2事業所）

(株)えひめ飲料 東京工場 日本ピーマック(株)

10年連続無災害達成事業所（1事業所）

ジャトコ(株)厚木開発事業所

5年連続無災害達成事業所（4事業所）

三木プーリ(株)テクニカルセンター

(株)イワセ (株)三晃製作所 滝川工業(株)厚木工場



「和食」を見直しませんか。 ～「一汁三菜」で健康的な食生活を！～

ソニー(株)厚木テクノロジーセンター
保健師 真鍋 美季子

■日本の伝統的文化としての「和食」

平成25年12月、ユネスコ無形文化遺産として登録されたのは、寿司や天ぷらなどの個別の料理ではなく、和食全体にまつわる食文化です。農林水産省は「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」を「和食；日本人の伝統的な食文化」と表現し、以下の特徴が評価されました。

1. 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本の国土は南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。また、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。

2. 栄養バランスに優れた健康的な食生活

一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスと言われています。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿、肥満防止に役立っています。

3. 自然の美しさや季節の移ろいの表現

食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現することも特徴のひとつです。季節の花や葉などで料理を飾りつけたり、季節に合った調度品や器を利用したりして、季節感を楽しみます。

4. 正月などの年中行事との密接な関わり

日本の食文化は、年中行事と密接に関わって育まれてきました。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。

■「一汁三菜」は理想的な栄養バランス

和食の基本型である「一汁三菜」は、平安時代から日本人の間に受け継がれてきた食事の形です。特に、栄養バランスのよい食事が摂れるという点で、生活習慣病予防の面からもその価値が見直されています。

一汁三菜とは、ご飯と汁物におかず3品（主菜1品、野菜が主体の副菜2品）を組み合わせた食事です。難しく考えなくても、体にとって必要な栄養素である、炭水化物、タンパク質、脂質、ビタミン・ミネラルが、まんべんなく補えます。

◎主食：ごはん、パン、麺など

◎汁物：みそ汁、すまし汁、スープなど

◎主菜：肉、魚、卵、大豆料理など

◎副菜：野菜、きのこ、いも、海藻料理など

生活習慣病を予防するだけでなく、伝統的な和食文化を未来へとつなげていくためにも、日々の食事では和食を意識し、一汁三菜を心がけてみませんか。

部会紹介

【労務管理部会】

平成26年度より、労務管理部会部会長を務めさせていただきます（株）リコー厚木事業所の山脇です。多少、景気回復の兆しが見えて来たものの、この4月より消費税率が8%に引き上がるなど、まだまだ我々を取り巻く環境は厳しい状況です。さらなる景気回復へ企業努力が続く中、少しでも企業に役立つ情報提供が出来ればと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

昨今、「ブラック企業」という言葉をよく耳にします。どうなったらブラック企業になるのか？明確な定義は無いようですが一般的なイメージでは、離職率が高い／劣悪な環境で仕事をさせられている／サービス残業／セクシャルハラスメント／パワーハラスメント／自分の専門とは全く違う仕事をさせられてる。といったところでしょうか。ひと言で表すと「入社を勧められない企業」と言えると思います。皆さんは自分の子供をこのような会社に入れたいと思いますか？実際に働いている従業員はなかなか自分の会社の実態を掴みきれないものであり、愛社精神もあるので口外しづらいものだと感じます。労務管理部会では、少しでもこのような労務管理の知識を得る機会を提供する為、本年度も、環境の変化に即応し、各種行事を通じて、地域の皆さまに役立つ情報発信に努めて参りたいと考えております。

【安全部会】

ご安全に

安全部会は、会員事業所の労働災害防止を最重点と位置付け、部会活動を通じて「第12次労働災害防止計画」の目標である平成29年の死亡者数15%以上減少（平成24年度比）、休業4日以上死傷者数を15%以上減少（同）の必達に向け、積極的な部会活動を進めてまいります。

具体的な活動としては、厚木労働基準監督署のご指導のもと、部会の開催、工場訪問、研修会等を通じて、会員相互の情報交換、相互啓発、教育等を実施していきます。特に、今年度は労働災害の怖さを体験的に学習する公開講座（仮称：「安全体感道場」）を立ち上げ開催いたします。

更には、職場の潜在的な危険性や有害性を見つけ、これを除去・低減する「リスクアセスメント」の実施促進を会員事業場へ積極的に支援します。

以上、一層の安全水準の向上を目指した部会活動の充実によって厚木労働基準監督署管内の労働災害発生の低減を目標に活発に活動して参りたいと思いますので、会員事業所の皆様のご協力宜しくお願い致します。

【労働衛生部会】

労働衛生部会会長を務めています、旭硝子（株）相模工場の野口です。

労働衛生部会は委員10名で活動しています。また、保健師・看護師の有資格者8名で構成される産業保健委員会が部会とは別にあり、従業員への保健指導という面を深く掘り下げて活動を行っています。従来はそれぞれが独自に活動をしていましたが、今年は合同で会合をもつなど、連携した動きを図っていく予定です。

具体的には、労働衛生研修会の企画・テーマについて、会員事業所にとって有益な研修会にすべく知恵を出し合っていく予定です。昨年の研修会では、厚木労働基準監督署からのご講演のほか、感染症対策や睡眠と疲労回復に関する研修を開催しました。また、産業保健委員会では、昨年4回にわたって、支部だより「健康だより」のコーナーを設け、保健指導に関する記事を掲載しましたが、これも引き続き継続していく予定です。

労働衛生部会、および産業保健委員会では、本年度も会員事業所の皆様が労働衛生管理における重要課題に対応していく手助けになるべく、講習会や研修会を推進してまいります。

【広報部会】

広報部会は9名の部会員で年間4回の支部広報誌「あつぎ」を発行しています。

3月に広報誌「あつぎ」のベースとなる年間スケジュールの格子に担当者をみんなで決めています。

その後、3回の広報部会を定期的に開催して計画の進捗状況確認や発行前の文章校正を行っています。

今年度から広報誌の発行経費を見直す活動も並行して行うことになりました。他の支部も参考にして、紙質やページ数を改善し時代にマッチした形に最適化します。

しかし「内容には手を抜かないで行こう!」と部会員一同で乗りきるように頑張ってまいります。

手作りですが皆様からの情報も添えて読みやすいスマートな広報誌にしたいので広報部会から寄稿のお願いが有りましたら引き受けてもらえるように協力をお願いします。

今後も厚木労働基準監督署のご指導とご協力を得て、労務・安全・衛生に関わる情報の掲載と会員の皆様に役立つ広報誌にできるよう活動してまいります。

【倉庫関係部会】

倉庫関係部会の現況について

倉庫関係部会は、平成17年に安衛協の一員として再スタートから早9年目を迎える事になりました。当部会は厚木労働基準監督署管内を中心として4支部39社で構成されており、会員は名称の通り倉庫業を始め物流関係に携っております。

活動内容は年4回の役員会、会員事業所自主安全パトロール、大山安全祈願、リスクアセスメント等の講習会、厚木労働基準監督署と部会役員との合同安全パトロール等を実施しております。

会員各社の努力によって部会発足以来労働災害発生“ゼロ”を継続しており、引続き安全衛生活動の活性化を通してこの目標を目指して行く所存で御座います。

当部会も今までの実績に甘んじる事なく、安衛協の会員の皆様方の御理解・御協力のもとこれからの将来を見据えた地道な部会活動を通し、さらなる発展を心掛ける所存で御座いますので宜しく御願い申し上げます。



昭和と平成



アツギ株式会社
池田 広

平成26年度に入り、弊社も新入社員が新社会人として日々研修に励んでいます。振り返れば自分がアツギ(旧厚木ナイロン工業)に入社してから30年も経過していることに驚くばかりです。当時(昭和58年)は緒先輩方からの厳しい指導のもと、学生と社会人の違いを徹底的に叩き込まれたものでした。昨今の学生や新入社員と接すると、時代の違いを感じるようになりました。例えば、電話が良い例です。平成生まれの若者は日常生活の中に「黒電話」はなかったようです。ダイヤルを回した経験ありません。私たちの世代なら、誰でも口遊むことのできる「恋におちて」の中にある♪ダイヤルまわして 手を止めた♪の歌詞は伝わらないかもしれません。また、携帯電話(今ではスマホ)の普及によって、第三者からの電話を取ったことがないというのも驚きです。友人や恋人とは直接携帯でつながるのが当たり前の世代ですから、デスクで鳴る誰からかかってきたかわからない電話に出るのは初めての経験になります。当然、

取り次ぎも初めてです。そういうことを考えると、私たちは実生活の中で、電話の仕方を学びながら、他人(友人の父や母)との会話を知らず知らずのうちに熟してきたことになります。

「栓抜き」も以外と知られていません。生活の中から「瓶」が姿を消しつつあると思うと少し悲しくなるのは私だけでしょうか。

「テレビ」も一家に1台、夕食時は家族が同じ番組(主にチャンネル権は父親)を我慢して見るという忍耐力?も培いました。

今の若者に協調性がない。忍耐力がない。根性がない。と言っているわけではありません。

私たちが入社当時、「今の若い奴は・・・」という言葉をよく耳にしました。その言葉を聞く度に、「あんなオヤジにはなりたくない」と思った記憶があります。今まさに立場が逆になり、若い人に対しては心して対応することを心掛けています。



愛川ソーラーパーク “さんてらすTOBISHIMA”

今回のディスカバリーあつぎは、愛川町にある太陽光発電所を紹介します。その施設は愛称を愛川ソーラーパーク



愛川太陽光発電所正門

“さんてらすTOBISHIMA”と称し、国道412号線の半原小学校入口交差点から宮ヶ瀬ダム方面に向かうきつい坂の途中に突然現れます。気が付かないと通り過ぎてしまうくらい静かで自然豊

かな場所に位置しています。

愛川太陽光発電所は神奈川県営初のメガソーラー（出力1000kw以上の大規模太陽光発電）で、平成25年5月より営業運転を開始しています。愛川ソーラーパークは横浜スタジアム約2.5個分の敷地に7,902枚の太陽電池パネルが設置され、年間188万kwhの発電量で一般家庭約250軒分の電気を作ることができます。

今回は地球にやさしい施設を訪れるということもあり私も愛車のロードバイクで化石燃料を使わずに体力使って訪れてみました。

ソーラーパークは誰でも見学することができます。施設内には電気自動車の無料急速充電設備や遊歩道、トイレやベンチなどが設置された小さな公園といった感じです。また、ツツジも植林されていてこの広報誌が届けられる頃には満開になっていることでしょう。

朝練（ロードバイク仲間



太陽光パネル（上段：1,574枚）

による早朝練習のこと）終了後にそのまま駆けつけたので少し疲れ気味の私には展望ひろばのベンチはありがたい。ここから眺めて見ているとすべてのパネルが一つの方向にきちんと向いていて、その整然さと大きさに驚かされました。パネルが太陽をいっぱい浴びてキラキラと輝き、しかも静かで「いい仕事しているなー」と感心しました。そのパネルの中にひょっこっと高いパネルがあり近づいてみると「クルパネくん」とネーミングされ、太陽光を常に最適に受けられるようにくるくるとパネルが自動で回るかしこいものです。

訪れた時は、私以外誰も居ない静かで暖かな日でしたが変電設備のブーンと言う音だけが「だまってもくもくと仕事をしている」と言う感じに受け止められました。

愛川ソーラーパークは仏果山の麓に位置し、宮ヶ瀬ダムにも近いのでドライブやハイキングの休憩ポイントとして寄り道するのも良いのではないのでしょうか。

電気自動車が長い時間を掛けてようやく身近なものになりつつあるように、太陽光発電のような自然エネルギーもより身近なものになり、安全で人にやさしい次世代エネルギーがこれからの主役になってほしいと心から思います。



太陽光パネル（下段：6,328枚）



クルパネくん

（AGCオートモーティブAMC（株）相模工場 小峯雄二 記）

支部からのお知らせ

今後の支部行事予定

- 6月11日（水） 全国安全週間県央地区推進大会
- 6月18日（水）～19日（木） 職長安全衛生教育講習会
- 7月 9日（木） リスクアセスメント講習会
- 7月14日（月） 届出手続き講習会
- 7月15日（水） 危険予知訓練（KYT）監督者向け講習会
- 7月23日（水） 危険予知訓練（KYT）一般向け講習会